

視覚障害のある児童生徒のICT活用について



千葉県立 千葉盲学校

電話 043-422-0231

FAX 043-424-4592

研究のポイント

本校の今までの研究やICT活用に関する現状から、本研究指定を受けて、その取り組みについて。

■学校の概要

<http://www.chiba-c.ed.jp/chiba-sb/index.html>

県内唯一の視覚障害教育に特化した特別支援学校として、両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によって通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の満3歳児以上を対象としている。幼稚部3年、小学部6年、中学部3年、高等部(普通科、総合生活科、保健医療科)3年、専攻科(保健医療科、理療科)3年の教育課程がある。

学校教育目標は、「視覚障害に基づく困難を改善・克服し、自立と社会参加に向けた資質と能力を備えた社会人を育成する」とし、一人一人の教育的ニーズに応じた指導をしている。

また、視覚支援センターでは、県内の視覚に障害を有する乳幼児児童生徒及び成人、保護者、関係者に対して、教育相談や通級による指導を行っている。寄宿舎があり、自立する力、生活力の向上、豊かな人間関係を培う支援が行われている。

■研究課題

視覚障害のある幼児児童生徒が、ICT等を活用して、外国の文化に触れたり、交流を深めたりするための学習内容について検討する。異なる言語や文化に触れることにより、児童生徒の気持ちや態度にどのような変化が現れるのか。また、主体的に発信するための方法や語学力・コミュニケーション能力の育成に必要な方法等を探る。

■研究の目的と方法

情報障害のある幼児児童生徒が社会に出たときに、より多くの情報を得たり、自分から情報を発信したりする時に、ICTは有効な手段である。また、文化の異なる他者に対し、自らの考え等を主体的に発信することは、「自己理解」「他者理解」を基盤とするとともに、「チャレンジ精神」や「困難を乗り越える強靱さ」が必要になる。グローバル化が急速に進み、激動する社会に適応できる力を身につけるためにも、利便性の高いICTを活用し、教育内容や支援方法等、汎用性の高い実践例を積み重ねることが必要である。

本校のICTについては、ルーペ、単眼鏡、拡大読書器、パーキンスプレイヤー、ブレイルメモ、プレクストーク、コンピュータ(タブレット等も含む)、ボイスレコーダー、携帯電話(スマートフォン)も含むなども情報伝達機器であり、ICT機器であると捉え、幼児・児童・生徒について、その利用状況の確認からはじめ、コンピュータ

を使って外国の方と交流をすることとした。より良いコミュニケーション手段としての利用を検討する。

■研究概要

県からの指定研究を受け、研究部は、

「一人一人の教育的ニーズに応じた自立活動の充実」

ーICTや補助用具等を活用した学習を通してー

キーワード：ICT、補助具、コミュニケーション

という主題を設定した。

県指定の研究担当は、研究部とは別に組織され、自立活動部に所属し、そのテーマの1つであるコミュニケーションに焦点をあて、ICT機器を手段として、研究部と連携しながら指定研究を進めることになった。

【実践例】

- 小学部の自立活動の授業
電子メールでやりとりをしよう(伝え合う力を育てるために)
コンピュータを活用した電子メールでのやりとりを学ぶ
- 高等部の自立活動の授業
場に応じたコミュニケーションをしよう
3つのグループから2人ずつの生徒を選び、通行人から情報を得ながら目的地を目指す様子を、Skypeで中継し、各グループはその様子を映像で見る
- 高等部の教科「情報」の授業
日本語ワードプロセッサによる情報処理の実践
自分の見え方に合った文化祭の案内の作成をする中で、生徒による、ウェブページの作成、フェイスブックへの情報発信へと発展
- 高等部の自立活動の授業
千葉大学の留学生3人(共にモロッコ、コスタリカ、タイランドで教員をしている)との直接的な交流(1/13)及び、そこからの発展(電子メールやSkypeでのやりとり)と展望(自国に帰ってからの本人やそれぞれの学校の生徒同士での電子メールやSkypeでのやりとり)

【成果】

- 本校の各幼児・児童・生徒のICT活用状況一覧の作成
- 情報教育室(教育用コンピュータ室)のソフト環境等の整備(メール、skypeなど)
- 千葉大学の留学生との直接交流と今後へのつながり

【今後の方向性】

- 直接交流を持った留学生と、ICTを使っての外国との交流と、そのために必要な教育内容(語学力やコミュニケーション力、ICT機器の活用能力の向上のための教育内容など)の整理
- グローバル化に対応するための、視覚障害のある幼児児童生徒の自立活動、外国語教育、情報教育の必要性および有効性と、それらの教育課程の整理
- 新たな千葉大学の留学生との国内における、外国の方とのICTを使っての交流
- 文化祭などを機会とした、生徒による情報の発信
- ICT機器を活用した授業実践についての研修会